

# 富士山頂に巨大な笠雲

## 真っ白な帽子 ふんわりと

山  
梨

山梨県富士吉田市で20日朝、  
富士山に巨大な笠雲かさぐもがかかる  
いるのが見えた。橢円状の分厚い雲が雪化粧した山頂をふんわりと覆い、晴天の下で真っ白な帽子を乗せているような姿になった。

甲府地方気象台によると、笠雲は太平洋から吹いてくる湿った暖かい空気が山の斜面にぶつ

かって上昇し、上空の冬の冷気によって冷やされ発生する。天気が下り坂になるサインとされ、同市では朝方、曇り空が広がっていたという。

発生から数時間で形が崩れることが多く、一度消えた後に小さな雲が山頂に現れ、二重になったり巨大化したりと形を変えていた。